

項目	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
	入院日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3病日目	退院予定日(術後4病日目)
目標	・不安なく手術が受けられる		・術後合併症を起こさずに順調に回復できる ・痛みが軽減できる ・褥瘡ができない			・退院後の生活が理解できる
投薬	◇14時に下剤を内服します ◇持参された内服薬があれば、寝る前まで内服はできます	◇麻酔科医師の指示で、持参されている薬を朝飲んでいただく場合があります その時は看護師が声掛けします	◇医師の指示があるとき、または飲水できるようになれば内服薬が飲めるようになります (持参した薬、痛み止めなど)			◇必要に応じて痛み止めなどの退院処方ができます
注射		◇9時頃から点滴を開始します 点滴は手術翌日の夜まで続けて行います ◇手術中、背中に痛み止めの管が入ります	◇点滴をします	◇点滴をします ◇点滴は夕方までで終了です		
処置	◇臍の処置をします ◇術後の合併症予防で、弾性ストッキングを履きます	◇手術後血栓予防の器械を下肢につけます (歩行できるまで)	◇背中に入っている痛み止めの管を、痛みに応じて抜きます (医師が行います)		◇術後3病日目に創部の処置、超音波の検査があります ◇異常がなければ退院許可がでます	◇弾性ストッキングは終了です
検査	◇必要に応じて、採血をします	◇手術後に心電図をつけます(翌朝まで)	◇朝、採血をします		◇起床後に採血をします	
食事(栄養)	◇医師の指示に応じて必要時特別な栄養管理を行います 特別な栄養管理 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ◇胃腸にかすを残さないようする食事ができますので、病院食以外の物は食べないようにして下さい ◇21時以降は絶食となります	◇手術室入室2時間前まで、水かお茶の飲水ができます	◇排ガスの確認をします ◇排ガスが出たら、水・お茶を飲んでいただき、問題がなければ食事を再開します (おかゆから開始します)			
指導説明	◇麻酔科医師の診察があります ◇持参されたお薬について薬剤師が確認します ◇外来で受けた説明内容と同意書などの書類について確認します ◇手術に必要な物品を確認します ◇病棟内の説明をします ◇原則として希望による他科の受診はご遠慮下さい ◇不安なことがあれば看護師に声をかけて下さい	◇手術中、ご家族の方は家族控室でお待ち下さい ◇手術終了の連絡があるまでは、どなたか必ずおひとり控室で待機して下さい ◇手術終了後、術後病棟に1泊となります ◇術後病棟で面会となります	◇医師の診察があります(術後病棟で) ◇術後の経過に問題がなければ元の病棟に11時ころ戻ります		◇医師の診察があります ◇看護師より退院指導があります	◇会計の説明があります ◇退院は午前中にご利用します
看護(清潔排泄観察等)	◇シャワー浴をして下さい ◇症状や腹部状態の観察を行います	◇手術中に尿の管が入ります ◇手術後、合併症や腹部の状態観察、痛みなどの観察を行いません ◇手術後、血圧や体温、尿量など時間毎に観察します	◇朝、洗面のタオルを渡します ◇9時頃、体を拭き身支度を整えます ◇離床し問題なければ尿の管を抜きます ◇初回排尿時は看護師にお知らせ下さい ◇合併症や腹部の状態観察、痛みなどの観察を行います	◇9時頃、体を拭きます ◇合併症や腹部の状態観察、痛みなどの観察を行いません	◇シャワー浴ができます	◇入浴は退院後の外来受診時に医師に確認して下さい
リハビリ	◇術後必要に応じてリハビリを介入していきます リハビリ介入 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
安静度	◇制限はありませんが、病室を離れる時は看護師に声をかけて下さい	◇歩いていける場合は、歩いて手術室に行きます ◇手術後はベッド上安静となります ◇手術後の合併症予防のために寝返りを行い、足を動かしましょう	◇手術後の合併症予防のために寝返りを行ない、足を動かしましょう ◇尿の管を抜いた後は、無理の無い程度に歩行しましょう (初回歩行は看護師が付き添います)	◇積極的に体を動かしましょう 制限はありません		
診察予約						◇退院後、2週間くらいを目安に外来受診の予定となります ◇退院日に次回の外来日を予約し予約票などをお渡します

主治医以外の担当者 医師:金 彰午 看護師:弓田 恵美 薬剤師:慶徳 美咲 栄養士:花見 侑紀 理学療法士:伊藤 ゆかり 作業療法士:佐藤 瑞枝

患者様またはご家族様

担当看護師

竹田総合病院 産婦人科

2024年 2月改訂